



吉原

舞鶴市立吉原小学校
学校だより



令和元年11月1日発行 No.8



「one TEAM」の全校表現！



先日の台風19号では、関東・東北地方を中心に多くの被害があり、お亡くなりになられた方々、被災された方々に心よりお見舞い申しあげると共に、一日も早い復興をお祈り申しあげます。

さて、現在日本で開催されている、ラグビーワールドカップでの、日本代表の大活躍に、にわかラグビーファンとなり、感動と興奮をされた方々も沢山おられるのではないかと思います。活躍の裏側には、想像を絶する練習があったものだと思います。主将リーチマイケル選手は、「one team」と言った言葉を何度も言っていました。「心・技・体」がチーム一つになった姿が私達に感動を与えてくれたと思います。スポーツの秋真っ只中の10月5日に、秋晴れの中運動会を開催し、成功裏に終える事ができました。「令和元年笑顔の運動会 根気強く 協力 最後まで全力！」の児童会スローガンの下、力を合わせ達成感が持てる運動会にしようと頑張ってきました。来賓の皆様、保護者の皆様・地域の皆様には、早朝より多数ご来校いただきありがとうございました。併せて、子ども達に温かい声援もいただき感謝申しあげます。全校表現「令和・新たな一歩～吉原祭り～」では、全校児童が、運動場いっぱいリズムに乗って体全体で表現したパプリカのダンス。吉原ソーランでは、全員が法被姿で、大きな声を出し、力強い踊りを披露し、「息の合った勇壮な動き」を皆様にお見せでき、まさしく吉原の児童全員が「one team」になれた全校表現だったと思います。来校されていた方々からも、多くの賞賛の言葉を頂きました。赤組・白組共に大きな声で工夫を凝らした「応援合戦」・ゴール目指してカー杯走った徒競走等これまでの練習の成果を発揮し、どの学年どの児童も見事な頑張りを見せてくれました。運動会を通して学んだ数多くのことを今後の学校生活に大いに生かして欲しいと思います。

本の魅力を知る秋に

読書の秋を迎えています。本校では、11月は、「読書月間」として、図書委員会の取組、教師の読み聞かせ、親子読書など読書の奨励をしています。読書の効果は、言葉（言語や漢字など）を知ることができる。別の世界（自分で経験できないこと）を知ることができる。本の中に出てくる人の気持ちや考えを知ることができるなどが挙げられると思います。このような良さを少しずつ子どもたちに伝えていき、本好きの子どもたちが増えてくれることを期待しています。さて、11月は学校では学期の折り返しとなります。自然の恵み同様、学校にとってもこれまでの教育活動の成果を問われる「収穫の秋」となります。

舞鶴市小学生駅伝大会にはじまり、舞鶴市合同音楽会・人権集会・就学時健診・芸術鑑賞とたくさんの行事や取組を計画しています。保護者の皆様、地域の皆様には、引き続きお力添えを賜りますようよろしくお願いいたします。

校長 井上 憲正 ・ 教職員一同



全力を出し切った 運動会

10月5日(土)に、秋晴れの中、令和元年度の運動会を開催しました。当日は、それぞれの競技・演技に一人一人が全力を出し切り、生き生きとした姿を見ることもできました。子どもたちが手にした満足感、達成感などは、それまでに積み重ねてきた練習の賜物であったと思います。今後の学校生活で、この経験を活かしてくれると期待しています。保護者の皆様には、健康管理や体操服の準備、そして励ましや当日の応援など、たくさんのご支援をいただきありがとうございました。さらにPTA役員の皆様には、前日準備や当日朝早くからの準備、運営や後片付けと大変お世話になりました。また、お忙しい中ご参加くださいましたご来賓の皆様、いつも温かく応援してくださっている地域の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。

(応援合戦 赤組)

(応援合戦 白組)

(全校表現)



「人権の花」運動球根贈呈式

10月25日(金)に「人権の花」運動球根贈呈式がありました。舞鶴人権擁護委員の方からお話をいただいた後、「登場人物それぞれの気持ちを考えるを通して、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊意識を養うこと」をねらいとして、「ねずみくんのきもち」の読み聞かせをいただいた後、球根贈呈と植え方を説明していただきました。一人一人が水仙の花の球根の植え付けをしました。3月頃には、きれいな花が咲くように大切に育てます。



3・4年「車いす体験」 5年「アイマスク体験」学習

10月28日(月)に、身障センターの方にお世話になり、3・4年は車いす体験、5年はアイマスク体験をしました。「障害の原因や日常生活上の不便さを知る」「肢体障害のある方のサポート体験を通して、障害のある方に寄り添って関わることを養う」ことを目的に体験学習をしました。

「車いす体験をして」

私は、車いす体験の勉強をする前から、目が見えない、聞こえない、動けないなどのしょう害をもった人たちは、どんなことを思っているのかが、とても気になっていました。

でも、今回の勉強で分かったことが二つあります。一つ目は、しょう害をもっている人の感じていることです。私たちは、いろいろなことが自由にできても、しょう害のある人たちは、できることがかぎられています。不自由なところが、もし自由に何でもできたら・・・と考えていると思います。ならば、私たちも、そのしょう害者の人の心を考えたら、それこそ、みんなでつながれるのではないかと思います。

二つ目は、車いすに乗っているときの気持ちです。特にしょう害者の人たちは、自分で動かすことができないし、道もみんな平らで安全な所ばかりではありません。身障センターの方が言っていたように、いきなりでこぼこした道を行くと、気分が悪くなったり、とつぜん坂を下ったりするとこわいし、不安なことはいっぱいだと思います。

だから、声をかけて、安全をたもてるようにすることが大事だと分かりました。

(4年児童の作文より)



1・2年「乗り物たんけん・秋見つけ」 ～生活科の学習～

10月16日（水）に、1・2年生が校外学習に行きました。

電車に乗って神崎に行き、秋見つけをしました。集団行動、交通安全、公衆道徳を学習する機会となりました。

秋見つけで持って帰ってきたどんぐりやまつぼっくりは、相愛保育園の友だちとの交流会でも使います。



ぼくは、電車にのってかんだきまでいきました。じんしゃについたら、どんぐりがいっぱいおちていました。どんぐりをいっぱいひろいました。小さいどんぐりと大きいどんぐりをひろいました。ちやいろやきみどりいろでした。はまべに行ったら、すなにあながありました。それは、カニのすかなと思いました。いろいろ取ったりあそんだりして楽しかったです。（2年児童の見つけたよカードより）

6年 城北祭に参加



10月26日（土）に城北中学校で行われた「城北祭」に、城北中学校区の4小学校の6年生が集まり、合唱「今を生きる」を発表しました。全員が集まって歌うのは初めてでしたが、息もぴったりと合い、迫力のある歌声を届けることができました。その後、中学3年生の学年合唱・学級合唱を聴きました。大勢の先輩や友だちの中で、貴重な体験をすることができました。

「城北祭に参加して」

たくさんの人の前ではじめて歌うのでとても緊張したし、高音と低音できれいにできるか不安だったけれどうまくできたのでよかったです。4月頃から練習してきて、こんなにきれいに歌えるのは、みんなの気持ちが一つになったのと、音楽で小学校に来て教えてくださる市村先生のおかげです。ありがとうございました。市村先生の顔を見て歌うと、緊張がほぐれて、楽にいつも通り歌えました。とても楽しかったです。

中学生の合唱を聴いて、やっぱり中学生だから、声変わりとかするけれど、女子と男子で分かれて高い音、低い音のハモリがとてもきれいだったので、私たちも中学生の人たちみたいに、きれいに歌いたいなと思いました。お手本にしていきたいです。（6年児童の感想より）

東京混声合唱団ワークショップ

10月29日（火）に、東京混声合唱団のワークショップが開催されました。ソプラノ・アルト・テノール・バスの声の違いや、発声の仕方などを教えていただきました。11月26日（火）には、東京混声合唱団の皆様、約30名をお迎えして本公演が開催されます。



♪ 芸術鑑賞 ♪

日時 11月26日（火）14:00～15:30

場所 吉原小学校体育館

内容 東京混声合唱団

すばらしい合唱を、子どもたちと共にお楽しみください。
東京混声合唱団と子どもたちの共演もあります。



みなさま、ぜひお越しください